六甲山 YMCA での燭火礼拝

ユニオンチャーチにおいて ル委員の配慮により、横浜

昼食休憩をとらせていただ

う。「主にあって共に歩む」 CAでカンファレンスを行

吾、六号を六甲山YM 六甲山YMUAへ。

うなどして、御言葉の豊か

をドラマにして恵みを味わ

った。閉会礼拝は、

して「エマオ途上」の物語

見学した。また、ブラウネ

横浜指路教会などを

記念モニュメントを見学

サーヴィスでは、

神戸を訪れ、阪神大震災の

フェリス女学院、横浜共立

二日は朝より横浜へ。横

ヘボン邸跡

堀界隈を散策した。夕刻、

カッションで、

祈りを共に

した。六日夜のキャンドル

を描きあうグループディス

へ。昼ごろに到着し、

礼拝出席のために散らされ

代表である佐藤智子神学生

の主題のもと、青年委員の

甲山の自然に触れつつ、創 さのなかに共に浸った。

いた。横浜から、それぞれ

った。感謝しつつ報告する。

で恵みを分け合い、「主にあ グループディスカッション

う。

大阪教区教育委員会と

奈良高畑教会の格別な配慮

い人たちにとってなのだ。

いただくことが出来ない若

を、

つまり御言葉と命を、 教会からパンと葡萄酒

地域として奈良へと向か

稲田、千葉本町、東京台湾、

ったのは、高崎、長原、早

次がれ、「主にあって共に歩

合いつつ下山、台湾側のリ

な交流の時や、

七日、多くの恵みを分け

クエストでもあった伝統的

んできた日々」を振り返る

13〜35節)で御言葉が取り

による開会礼拝(ルカ2章

かなものであった。 造主を共に崇める恵みは豊

に、ユースをお迎えくださ た。なお、三日の平和聖日

価 1部140円(本体133円干共200円) 1年分 〒共 紙代のみ 5,000 円 3,500 円 振替 00140-9-145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい

教会の購読料は負担金に含みます。

日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話 FAX03(3207)3918

発 行 人 内 藤留幸 編集主筆 竹 澤知代志

開催にあたり、教育委員会

今回のユースミッション

年の協議会の共同声明において、青年交流の開催が決定された。二〇〇六年には、最初のユースミッ

今回は、通算三回目の交流となる。

-スミッション二〇〇八が行われた。教団は協約に基づき隔年で協議会を開催しているが、二〇〇五 七月三一日-八月八日の間、教団が協約を結ぶ台湾基督長老教会から青年七名を迎え、青年交流ユ

ションが行われた。昨年は日本から台湾に七名が遣わされ、

基督長老教会から青年を迎

グラムは交流中心であっ

分かつ者として、キリスト

の十二人の青年たちが使徒

よる開会礼拝後、東京見物

きつつ。

八月一日は実行委員長に

のごとく遣わされる幻を描

に出かけた。 委員会では浅

(岸憲秀報)

す。それゆえ、前半のプロ | た。ここで養われた恵みを

〇〇六参加者、二〇〇七参 務めることとした。特に、 行委員会を組織した。委員 当初より、三名の青年(二 SOFには共催という形で 長は職責上、教育委員長が OFと表記)と協力して実 は、台湾協約委員会と学生 物心両面において、多くの 全面的に協力をいただき、 訳として御奉仕くださった かけてくださり、また、通 が同教会の青年たちに呼び 二〇〇六年の開催よりも (実行委員·台湾協約委員)

加者、SOLF推薦者)に実一る。開催近くなって、漸く一充分な準備をもって臨んで一深めた。青年たちがすぐに 早く準備に入ったが、肝 の青年の参加者が得られな い。これが教団の現実であ

を行っていただいた。また、 行委員として奉仕をいただ 東京台湾教会の李孟哲牧師 カンファレンス部分の準備 特に青年たちを中心に あり、 五名である。 めて結局、日本側の青年は 西東京教区と東京教区千葉 支区から推薦された青年が 実行委員の三名を含

するために公募をすると、 日本への七名の青年を派遣 充実している。日本以外の 門の幹事の下にスタッフも 伝道の部署があり、青年専 教会とも交流をしている。 方の台湾側には、 青年

八十名の青年が手を上げ

到着を待った。着後、レセ ンテーション、レクチャー その時間、日本青年たちは 聞きつつ、東京での宿舎で で成田空港へ迎える。一方、 高橋眞人委員によるオリエ プションを行い、交わりを 東京台湾教会の青年一名と (台湾の歴史について)を

前回二〇〇六の時は、 西でのプログラムである。 月三日まで、四日以降は関 交流のよいところだ。 親しくなれたのは、教会の 今回、 東京での滞在は八

たちである。

行が来日、委員長と李委員 指三一 旦、

いるのが今回の七名の青年

テスタント史」のレクチャ 飛文委員による「横浜プロ たが)、おいしくいただい

には怪しい具の餃子もあっ

の若さを奪い、自らは新築

の姿に若返る妖館が舞台と

た。また、このときに、佐藤

ホー 泊のみがホームスティで、 ほぼ全日程で一緒に過ご は主日礼拝出席のための一 スが中心であったが、今回 流は中三日のカンファレン ムスティが多く、

> 本伝道150年」を踏まえ 教団として祈っている「日

う必要はない。命も貰う必

ては…▼否、教会は血を貰

て行く。若さを輸血しなく

レセミナーであり、同時に

に計画される横浜探訪のプ

を聞いた。これは、翌二日

るように、教会もそこに信 なくなった妖館が老朽化す なる。子供たちが出入りし なる。▼妖館と教会とが重

仰生活する者も、老朽化し



員にとっては刺激的でもあ

員で原宿へ。青年以外の委

迎会、皆で餃子をつくり(中

った。夜はSCF主催の歓

そこに入り込 イス』では、 ドナイト・ボ

んだ子供たち

二人一組で互いの似顔絵描きを終えた後の発表会 互いに真っ正面から見詰め合うことから全てが始まる

や原宿だった。ここにも認 が、台湾青年の希望は渋谷 草や秋葉原を準備していた

▼ジョン・ソ

ルの 『ミッ

識の違いがみられ、結局、全

横浜、大阪、神戸、奈良-学びを共 により、閉会礼拝と交流会 とが行われた。礼拝、 会に先立ち奈良見学をした 交流

西空港へは青年たちの希望 参加した青年全員

三名で行く予定であった関 人 当初、出迎え同様

たいとの思いは、交流の深 で行くことになった。早朝 さを知らされるものであっ にもかかわらず、皆で送り

たものでもあった。 要はない。むしろ逆、様々 出会い触れ合うことで、喪 が、教会、聖書、教会員に な挫折を体験した若者たち

失していた若さや生気を、 会は、二〇〇〇年間、人々 方だ。深刻なのは、遠から 決して尽きることはない。 にパンと葡萄酒を、つまり 気や血を貰う必要はない。 教会は、若い人たちに、生 論の前提を間違えている。 ▼教会の高齢化云々は、議 御言葉と命を、提供して来 取り戻しているのだ。▼教 とってではない、深刻なの ず御国に移される高齢者に 必要なのは、若い人たちの た。この御言葉と命とは、



横浜海岸教会訪問後の記念撮影

教

伝道所での洗礼式執行について答申 第5回信仰職制委員会

制委員会が七月三日 第35総会期第五回信仰職 ***** 一で行われた。 〜四日(金)に教団会議室

式文改訂小委員会の報告を受け 二(諸式)の案文を審議

日本基督教団式文(試用版) 委員会に依頼することとな 検討することを式文改訂小

せられ、総幹事の判断によ ついて」の質問が教団に寄 り、「伝道所での洗礼執行に

催された。

前回議事録承認の後、

を受け、教団と在日大韓基

ロックするかにある。今、焦

合同結婚式により渡韓

きたように感じた。

韓日の教会が、次の一歩

と情熱を、主によって与えら

小出教会、8年中の竣工

楽しみである。新しい知恵

との報告を受け、 知之委員長から『日本基督 式) の案文作製が終了した 式文改訂小委員会の岡本 内容を審

くつか出されたため、 すことに反対する意見がい 内に原稿を確定することを 員からの意見をふまえて再 このままの形で出版に回 今期 在日大韓基督教会との関係について意見交換

玉川平安教会役員会よ

国朝鮮人連帯特設委員会が

第35総会期第四回在日韓

二〇〇七年度宣教方策会議

第4回在日韓国朝鮮人連帯特設委員会

六月二三日教団会議室で開

教100周年』第十四回人 及び在日大韓基督教会『宣

権シンポジウムの参加報告

り信仰職制委員会で答申を 出すこととした。 教会に受洗志願者がある

場合は、洗礼執行の承認決 定は教会役員会で行われる 道所に同志願者があった場 (教規一〇二条①) が、伝 伝道所には教規上役員

教区総会出席の権利はある その受洗者の教会籍はどこ の意志決定がなされるか、 こ置かれるか、 同受洗者の という質問である。

一は役員会は要件になってい 員会を置くことが求められ 道所には、洗礼を決定し、 転入を受け入れるための役 現行教規においては、伝

会が存在しない(一二〇~ なされることがふさわし 〇条②)の役員会において 定は、伝道所設立の要件と ないのである。 なっている関係教会(一二 従って洗礼執行の意志決

とによって可能となる。 ことは、関係教会の役員と る。教区総会の議員となる は、その意志決定をした関 係教会に置かれるべきであ そして受洗者の教会籍

三〇日に行う。 い課題の一つである。

所属した事に触れられ、 (大村栄報)

会を招き、戦前の一時期日 て韓国語で開会礼拝を捧げ 本語を強要したことを覚え 総会ではKCCJ宣教10 0 周年を記念して関西地方 じたこと、また、大阪教区

韓基督教会が教団第1部に 督教会との関係の在り方に 区総会での挨拶で、在日大 関東地方会議長が東京教 たことが報告された。 次に、二〇〇七年度決算、

当

ついて意見交換をした。

願いたい)

伝道所の現実とが乖離して この問題は、教規の規定と のような答申を行ったが、 いることを示している。 教規に基づいて概略右記

後検討されなければならな 次回委員会は九月二九~

四〇万円)。 て送付する(現在献金高約 各教区宛振込み用紙を添え する協力献金の依頼を再度 00周年」記念事業に対 在日大韓基督教会「宣教

| ◎その他外キ協発行〈日・ 人権教育セミナーに委員長 所にも送付されたので参照 (「答申」全文は各教区事務 報告資料について審議、 二〇〇八年度予算案、

総会

また、教団総会に当委員

総会資料に封入する。 ◎ 「外国人住民基本法」制 れるように常議員会に提案 することを決定した。 会の設置継続議案が提案さ 定国会請願署名用紙を教団 今後の活動については

を求める要請署名を教団総 外国人指紋」制度の中止

◎第十八回キリスト教学校

TT 0110

金の総括、平和メッセージ 韓・在日教会共同ブックレ | を在日大韓基督教会と合同 本軍「慰安婦」支援献金募 共に生きる世界・2008」 ット〉「歴史をひらくときー (定価千円)の扱い、旧日 等について協議し、次回を 九月一日に予定して閉会し で発表すること。

(土井桂子報)

経費については「新潟県中

②小出教会:五月に松下 にして、関東教区が主催す 日(日)に栃尾教会を会場 越沖地震」緊急支援募金で 充当した。 ④二〇〇八年一〇月十九

の提案があり、現在、二〇 委託契約を交し、基本設計 設計と建築設計・管理業務 〇八年中の会堂牧師館の建 拝が予定されている。 ③今後の支援、委員会活動 る中越地震を覚えて記念礼

魚沼産コシヒカリ」の販 報告をうけて協議、以下の 等について 事務局、関東教区の上記

後関東教区を通じて行う。 決定をした。 建築工事に伴う送金は、今 ①小出教会、見附教会の

については事務費を控除し ②支援募金閉鎖後の収入

次期総会期での委員会設置の継続をはかる

教長老会から 25

大きく前進した問題理解

チョンピョン)における活動 **沽動の柱である韓国・清平** より、最近の統一協会の 日本からは二名の脱会者

の実態が語られた。 からの報告がされた また二日目には日本各地

る講演をいただいた。 集団の最近の教理とその 判」、「(韓国・麗水におけ 教会の阻止運動」と題す 韓国からは、「統一教文鮮 文集団の浸透とキリス

や尊厳を踏みにじり続ける 得るような人的規模ではな て、統一協会は、脅威になり 韓国キリスト教会にとっ

らの二五名と日本の各教区 国・大韓イエス教長老会か 議室に集まり、統一原理問 地区・支区の代表が教団会 〇一二年に開催予定の麗水 が超教派で統一協会排除の もある。プロテスタント教会 文鮮明を満足させるための を行っており、麗水が高齢の 注ぎ込んで先行投資・開発 リスト教の聖地・麗水で、二 点となっているのは、韓国キ ための運動を展開してい 「地上天国」になるとの見方 統一協会は莫大な資金を した七〇〇〇人ともいわれ

題連絡会が開催された。

発言が今回の到達点であ い」。この韓国側の神学者の とは解ったが、なぜ霊感商法 にだまされるのかが解らな 日本の被害が大きいこ

弁護士による協議にも同席

協会の社会進出をいかにブ 教もしくは異端である統一

本にあることを知って欲し

超えると言われる被害が日

したが、更に大きく前進で 時間毎に場の空気が変わっ なか届かないできた。今回 ていくような感覚を受け もそのように始まったが、数 言って、私たちの願いはなか うになったとはいえ、率直に 表者が相互に訪問できるよ る日本人女性とその子ども たちを救い出すために、カ を貸して欲しい。 韓日の代 をどう展開していけるか、 統一教의 最近 教理 批判 및 向後 展望

ホ・ホイク大田神学大学院長による講演

T

(1)事務局・会計報告 会議室で開かれた。 員会」が六月二七日に教団 被災教会会堂等再建支援委 事務局から以下の報告が 第六回「新潟県中越地震

あった。①募金が三月末に の支援ニュースを各教区総 突破したことについて感謝 は、目標額一億八千万円を 献金累計額一八三、八二三、 計報告(六月十九日現在) 七四九円。募金目標額を約 会にむけて発送した。②会 建築費、支援事業事務費等 残高は約七000万円であ 三九、三三五円で手持資金 に支出した額は、一一三、六 り、今後、小出教会の会堂

をいただいたことは感謝で

される。 況の報告をうけ協議した。 2)関東教区報告 中越地震被災教会の再建状 援センター統括主任から、 及び飯塚拓也同教区被災支 牧師館の建築費等に充当 疋田國磨呂関東教区議長 ①見附教会:会堂•牧師 ある。資金不足を補うため、 築完成を目指して準備中で

備を含む追加工事費約七〇 りどおり約一千万円。この 年五月末に改修工事が完了 した。工事費等は当初見積 ③柏崎伝道所:二〇〇八

四万円の販売純益が献金さ 売を行うのでご協力をお願 れた。今年度も引き続き販 売が行なわれ、昨年度は五 て関東教区に送金する。

報に掲載して行う。 ③最終募金報告は教団新 (樋田利明報)

十分に宣教の業を果たすべく

特性を生かした多様な働き

が受け入れ宣教師を通して

望まれる。

国から多くの宣教師の受け 人れ窓口としての役割を果 この委員会では、世界各

宣教の業とうまく噛み合な

域の習慣などの違いから、

が多い。

とくに、文化の違いや地

い場合もあり、その調整に は課題が多い。それ故、受

の就任や退任の報告を受 の任期満了・任期延長・本 今回の委員会において 八名の受け入れ宣教師 五名の受け入れ宣教師 スリランカのランカ神学大学

け入れ窓口である教団側の 配慮が大前提であるが、そ

一地域や教区によって、その

(上内鏡子報)

係などにも配慮することが | れと同時に、受け入れ側の 第5回宣教師人事委員会 と宣教師の三者が関わって 力や理解が必要となる場合 発に進めるところもあり、 教会や関係学校・団体の協 いる伝道プロジェクトを活 その他、教区・関係学校 最善の努力をしていること を報告する に合うように、担当委員は 変に伴う「受け入れ宣教師 してきた。今総会期中に間 総会期を通して、委員会改 宣教師人事委員会は、この 入事手続き」 の規定を調整 最後に、今第35総会期の

九歳。 昨年一月八日、逝去。九

行われていることを知って 長幡ツネ子氏(別帳教師)

いただきたい所存である。



一は娘の伊藤康子さん。 業。四五年受允受領。 一九二九年東京聖書学院卒 島根県に生まれる。 遺族

師を務め、O七年隠退した。 で稚内北星学園大学教務教 東京都に生まれる。一九六 を経、八七年から〇五年ま 了後、金沢教会、野幌教会 遺族は妻の喜美子さん。 六年東京神学大学大学院修 七月二日、逝去。 六六歳

辞(教)相浦めぐみ

ることとなった。 ランカ・メソジスト教会か として奉仕した。今回スリ 区の百人町教会の担任教師 教師となり、東京教区北支 力神学大学で「女性と教会」 らの派遣要請をうけ、ラン 師の異文化の中での孤独な で学んだ。一九八一年から ランティア等の活動をし 八六年までスリランカでボ た。帰国後、大学の教員を しつつ、一九九六年に教団 「キリスト教史」を担当す 木下委員長は説教で宣教 である。世界の各地で伝道 る宣教師の働きを覚えて祈 と宣教協力関係を築いてい アへ六名、北米に十一名、欧 た。地域別の派遣先は、アジ の茶話会でも報告された。 会も立ち上がり体制が整え る力強いサポートを訴え 州に四名。また、八名が女性 派遣宣教師は二一名となっ られていることが派遣式後 幸い、岡田宣教師の支援 岡田氏の派遣により教団

一り、お支えいただきたい 塚本恭子 江間紗綾香

(二〇〇八・五・二七受按)

(二〇〇七年五月) 辞(担)高橋眞衣子 (二〇〇七年五月) 辞(主)高橋陽

相愛学園相愛幼稚園 (二〇〇七年三月) (二〇〇七年五月) 辞(担)土田雅章 辞(教)川崎正志 ″

「全世界に行って」のメッセージで送り出される

浄風 新島学園短大 就(教)山下智子

新潟愛泉 辞(代)熊江秀 潔氏 (隠退教師)

山口和憲、佐野公淳 橋本いずみ、藤井清邦 洪 德憙、小西 (二〇〇八・五・一八受允) 淳

五十嵐成見

(二〇〇八・五・二五受允)

大島元村

就(主)並河光雄

就(主)小橋孝一

辞(教)網中彰子

新島 浄風

辞(兼主)外山志都子

大澤香 平賀真理子、松島恵里 森田聖子、永倉直嗣

中西碧 (二〇〇八・六・二一受允) (二〇〇八・四・二八受按) 正教師登録

就(教)中川知子

就(神)今橋 朗

東調布

辞(担)隅野 徹 辞(担)西山崇文

金澤正善、新保能宏 (二〇〇八・四・二九受按)

辞(主)土肥

就(教)西谷幸介

辞(主)玉城 豊

就(主)村本新日

(二〇〇八・五・六受按)

就(代)大須賀豊稚

宇佐美 神 和 甲陽園

青山学院大学 就(担)老田

難波真実、鳴海としゑ 今井靖清、鎌野

宮田 征 然外和祐 (二〇〇八・五・一二受允) (二〇〇八・四・二九受允) (二〇〇八・五・六受允) 境 南

落合建仁、上竹裕子 加藤智恵、小林 充 (二〇〇八・五・二七受允) 日本聖書神学校 ベデル 日本基督教団 豊岡 "

聖町 青山学院大学専門職大学院

高佐香崎川川南 和田山地の塩 就(兼主)村本新日 辞(兼主)玉城 豊 辞(主)松井 初 辞(主)橘 秀紀 辞(代)大坪信章 就(主)橘 秀紀 就(担)隅野 徹

辞(代)梶原直美 就(主)沖田康孝 就(担)土肥隆 辞(主)土肥隆一 , 長 パ 居 大和キリスト

就(兼担)市川和恵 辞(兼担)市川和恵 就(担)市川和恵 就(代)森里信生 辞(担)市川和恵 辞(代)上島一高

敬和学園大学 就(主)町田さとみ 辞(担)町田さとみ 就(担)棚橋千恵美 辞(主)山岡 就(担)山岡 磐 辞(教)延原時行 就(主)加藤久孝 別府不老町就(主)齋藤真行 京都復興 就(担)小川文子 辞(担)荒木かおり 就(担)古森敬子 就(主)橋口 望 就(主)駒木 亮 大阪昭和辞(代)木ノ脇悦郎 大牟田正山町 八戸柏崎 就(主)荒木富益 辞(主)上田正昭 就(主)管家英治 就(主)野口忠子 就(主)西川和子 辞(代)田中寛也

就(主)網中彰子辞(代)内藤留幸 就(主)平松良夫就(主)平松良夫 奈良高畑 広島流川 辞(主)森澤一由 鹿児島加治屋町 入阪福島就(担)海老原道宣 備岡中部(就(担)浅場知毅 就(主)藤野進之介 辞(担)藤野進之介 就(担)木下恵美子 就(担)岡田いわお 就(主)藤川義人 就(担)望月達朗 就(担)大山 豊 辞(主)沖村裕史 桜美林 福岡女学院 聖蹟桜ヶ丘辞(代)吉岡光人 枚方くずは辞(主)石田正弘 関西学院大学 愛宕町 就(兼担)田邉良三 就(教)木ノ脇悦郎 辞(神)木ノ脇悦郎 就(主)上田正昭 就(代)原野和雄 就(主)八木靖之

近江平安 辞(担)小柳伸顕 金城学院大学 聖学院大学就(教)左近 豊 金城学院高校 太田八幡 就(代)櫻井義也 就(担)荒木かおり 辞(教)竹田伸一 就(主)沖村裕史 就(教)沖崎 学 就(主)八束 清 就(主)玉城 豊 就(担)友川 栄 就(主)秋永好晴 辞(主)牧野信次 就(主)栗田三郎 辞(代)堀川勝愛 出 名古屋中央就(担)渡邊宣博 甲東 うふざと 辞(主)平良夏芽 西宮名塩 就(担)赤刎正清 足立梅田 就(主)高橋陽 東舞鶴 西宮聖光就(担)井原恵美子 神戸栄光 就(担)林 昌利 浦和別所 就(担)井上博子 教師隠退 就(担)高橋眞衣子 就(担)石川はるみ 就(担)三浦 就(担)木村智次 就(主)佐野 治 就(担)筒井省行 就(代)渡邊宣一 就(代)金井 就(主)大庭康男 就(担)杉本和道

就(担)久保見誠 辞(担) 下健一 菊池礼子→久保礼子 江連博治、森澤一由 矢崎邦彦、廣瀬久允 DCE異動 教師改姓 広島県庄原市木戸町 伝道所通信先変更 八〇〇 山本泰章様方

西宮名塩

(就)有吉研

(3)

除され、同年九月から伝道所活動

二〇〇五年二月に避難指示が解

っております。

早急に募金状況を取りまとめ

(東京教区東支区長)

2008年9月13日

当支区が、全国の皆さんに対し

火の際消失し、それ以来民宿など て責任を負っている課題は、「三宅 を借りて礼拝や集会を行っていま 島伝道所の再建」です。 三宅島伝)たが、二〇〇〇年九月、大規模 一九八三年の雄山噴

教区

ろが、建築用地を られました。とこ からの支援が寄せ

致します。

きたいと思っております。

もう暫

くの猶予を賜りますよう、お願い

多くの団体・個人

び致します。近いうち、当該団体

務作業が遅れていることを、お詫

ところが、最終的にまとめる事

・個人宛に報告書を送付させて頂

けましたところ、 全国募金を呼びか

施され帰島できない状態が続きま はガス爆発により、全島避難が実

> 築計画に難題が発生し、建築に着 入手したものの、その後、会堂建

子できない状態となり、今日に至

について、ご加祷とご理解・ご支

今後とも、三宅島伝道所の再建

、環境や生活環境、 再建について 三宅島伝道所 人間関 **倉橋康夫** 派遣される。

になりました。

(礼拝と集会)を再開できるよう

建築計画頓挫の経緯説明と共に、

現実を語り、支援会等によ

東支区

を実行することを決意し、二〇〇 八年一〇月「再建委員会」名で、

ます。 て そこで、支区の責任で会堂建築

についての支区の意向をも添え

報告をする責任を負っており

将来に向けての三宅島伝道所再建

寸

人事的手続きに加えて、

員会委員の司式で執り行わ

によって支えられているエ

生が増加し、女性の神学教 実施し、同校では女性神学

育が大きな課題となってき

ト教会、長老教会の四教会

教

先で十分に宣教の業を果た

ンカのランカ神学大学へ当

初二年間の任期で八月から

教職と聖書科の教員を養成 関であり、これら四教会の キュメニカルな神学教育機

している。スリランカでは

学部神学科を卒業後、

岡田氏は青山学院大学文

すことが出来るように、働

新

との調整、任期毎の総括な 事手続きや日本での派遣先 割は、受け入れ宣教師の人 協議された。当委員会の役

木下宣世世界宣教委員会委

メソジスト教会、バプテス | 〇六年から女性教職按手を

員長の説教、伊藤瑞男同委

七月二九日に教団会議室で

三年に創設され、聖公会、

年から、また聖公会が二〇

ランカ神学大学は一九六 | メソジスト教会が一九八三

岡田則子宣教師派遣式が

報

報告活動)の承認事項等が 国活動(宣教師の母国での 公園にジョギングをしに行きまし

途中で昨日挨拶してくれたア

次の日。あきらおじさんはまた

早かった。 「Good Morning!」

と先に挨拶をしました。 何とその

めきらおじさんの反応はさすがに メリカ人にまた会いました。 今回 会いにアメリカに行きました。

にことばを返してきました。 アメリカ人は「あきらです」

と逆

ます。相当調整をしないと、「挨拶

「名前」は永遠にかみ合いませ

日本で牧会していて、宣教の対

あきらおじさんは初めて息子に

う思い、「あきらです」と、とっ ジョギングをしていました。 途中 拶されました。 あきらおじさんは で同じ年ぐらいのアメリカ人に会 さに答えました。 則をきいているに違いない、 れたのか、さっぱりわかりません 英語がわからないため、 何を言わ 二日目。近くの公園に行って、 「Good Morning!」と挨 心の中で、きっと私の名 話と通じるところがあります。 違いのお話です。また、これは自 分が異文化の東京に宣教にきたお らアメリカに行ったときの文化の これはあきらおじさんが台湾か およそ一〇年前に、台湾から全

> ような性格になってきます。 簡単 ると、多かれ少なかれ、日本人の

台湾人も長年日本に住んでい

に言えば、表面的には台湾人です

中身はどちらかというと日本

く見知らぬ東京にやってきまし 分の者もなく、男も女もありませ リシア人もなく、奴隷も自由な身 人生を展開しました。 た。日本での在日台湾人への宣教 「そこではもはや、ユダヤ人もギ

> 限り、宣教の効果は出ません。 民族間の文化の違いを突破しない

人に近いのです。だから、異なる

き、数えきれないほどの

へ々の支えと協力、 そして

家に戻って、あきらおじさんは

体験がなければ、なかな みなさんの認めていると ヤ3・27)という箇所は リスト・イエスにおいて ん。あなたがたは皆、キ ころですが、実際自分の 一つだからです」(ガラテ 可能性と障害を考えれば、 リント9・20)。なるべく相手の 去の考え方と態度を一掃しまし 喜びをもって刈り取ることができ 立場に立って、福音を受け入れる 律法教師よりも優れていると思っ と同じように、福音の収穫時には、 宣教の手段としました(参考1コ ていましたが、主を信じた後、 逆に「他人に近づく」ことで、 、ウロはかつて自分がユダヤの パウロ

行なわれました。

っています」(ローマ8・28) こ くということを、わたしたちは知 御計画に従って召された者たちに すが、「神を愛する者たち、つまり 予測できないことや困難がありま とを深く信じています。 宣教の道において、まだ多くの 万事が益となるように共に働

にだきました。

て、その場にいなければ

います。実際海外に行っ

なかなかその感じが分か

筆者とシニアたち

日本での宣教所感

報

新

(台湾基督長老教会からの派遣宣教師)

孟哲 李 る「ユダヤ人と異邦人の やすい。しかし、いわゆ なる人種の違いを指して 境の中で比較的に経験し 奴隷と自由な身分との違 せん。男と女との違い、 遅い」は異なる種族、異 かその真髄が理解できま は、それぞれの社会環

りません。異なる種

おじさんでは「名 きらおじさんのお く感じています。ち 局面が生じると深 から「あべこべ」の ょうど先ほどのあ 立場に立っている 力人の言っている 話のように、アメリ なそれぞれ異なる 族の主な問題は、み

さんはようやく意味がわかりまし

ですよ」と息子の嫁が答えました。

「そうか。なるほど」あきらおじ

Morning」ってどういう意味? 思子の嫁に聞きました。 「Good

おはようって朝の挨拶のことば

3章1節以下から、

職員募集

キリスト者が望ましい。 社会人・新卒ともに可。 当局規定による。週休2日制。勤務 9:00~17:00。有給休暇、特別休 暇あり。経験者優遇。

出版営業(正職員)。

◆職種

履歴書(写真貼付)・職務経歴書(新卒 不要)、卒業 (見込) 証明書、成績証 明書を 2008 年 10 月 17 日必着で下 記宛郵送下さい。書類選考後、面接 ・試験日を通知致します。応募書類 は返却致しません(秘密厳守)。

日本キリスト教団出版局 総務課

〒 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18 TEL.03-3204-0421

ージ http://www.bp.uccj.or.jp

「三〇年記念感謝礼拝」に出席して

的に取り組まれるようにな って、今年で三〇年を迎え 隠退教師を支える運動が 二〇年にわたる神様の導 盒 う区切りの年にあたり、 ので、この運動三〇年とい える知恵が与えられている と恵みに感謝し、現状を的 様の今にいたるまでの導き 「時」を区切って物事を考

時二〇分から教団会議室で 連動の今後の発展を祈念し 七月二日(水)午前九 説教でした。 歩みを進めるようにという 思い返せば、教団総会に

の務め」と題する説教をい つき「主に選ばれた者たち る福音書3章13~19節に基 留幸先生から、 マルコによ 行なわれ、教団総幹事内藤 その他合計三〇名によって - 金局理事長、業務室長、 区推進委員会」の委員と 隠退教師を支える運動全 三〇年記念感謝礼拝」が 前日から開かれていた ても、 ます。 きの「時」であったと思い 第20回教団総会でこの運動 関わってきた私にとって、 信頼は失われていないと痛 様のなさる奇跡であり、導 の当時の総会ではまさに神 決されたこと自体、紛争中 推進の議案が満場一致で可 議案を提案する以前から北 海教区の中で運動の推進に 信徒の牧師に対する 混迷する教団にあっ

> を経験していく中で、「もう一度 といった国際色豊かな教会生活 英語の次に通じるのは中国語」 など、「聞き取りにくい英語、

からではないか」と信じるから ようなものをも入れて下さった のも、主がその祈りの中に私の 教会に仕えていることができる

集め(召命)、派遣されたよ 運していてくださるという 動の推進のために、神様が つに、隠退教師を支える運 こと。 またコヘレトの言葉 いれと思う人々を召し、派 イエスが弟子たちを呼び 年の導きに感謝して。 のと確信しています。 運動」という特質によるも に基づく「祈り」と「信徒 は、信徒と牧師の信頼関係 ここまで進展してきたのに 感したものです。 爾来三〇年、この運動が (井上昌保報) \equiv

四月にずれ込む)

導きを祈り求めつつ今後の 確に把握して、その時々の

半英語を学ぶことから始めねば が、といっても、 て、キリスト教学修士を取得し を議論すること、論文を書くこ ならなかった。 結局五年かかっ こが大変」で、当初はまず一年 同校では牧会学を専攻した

ふつふつと沸き上がって来

クーバーのリージェント・カレ での留学生活を、こう述懐した。 ッジへの留学を決意し、 います」と、木村さんはカナダ 認するための旅だったと思って 間は、 伝道者としての召命を確 **教授に惹かれて、カナダ・バン** Pに新約学のゴードン・フィー は体調を崩して辞任した。 静養 一年たったところで、木村さん 伝道師として赴任した教会で 「今考えると、カナダでの五年 海を渡

め、中国、イン

ンド、ニュージー

曜学校コーディネーターを務

告し、ペトロのために「信仰が

主イエスがペトロの離反を予

で、

グリカン教会の日

神学校のフ

ルド・コース

ことも感じている。

ランド・カリブ海島々の子ども

うに、「召命を新たに覚えて、今、 無くならないように」祈ったよ

教会に仕えたい」という気持ち

宮教会に赴任した。留学は自分 めのものだったが、それが叶え の召命感をもう一度確信するた 修士号取得後 そんな折り 、招聘の話が出て、 07年四月、宇都

葉に聴いて行きたい」という木

が許されている。謙虚にみ言

教会に戻って来て仕えるこ

村さんは、日々の牧会の中でも、

なぜ自分は牧師に召されてい

太郎さん 木村

召命を問い続ける



1974年生まれ。東神大大学院卒。 リージェント・カレッジでキリスト 教学修士取得。宇都宮教会牧師。

Athad Mark Athad Mark Atha

考えている。

るかを問い続けて行きたい」と

様々な形で関わらざるを得なかっ

ぶり二回目のクラス会を持った。 十三名中一〇名の出席で、十八年 して以来三八年。七月末に卒業生 我々のクラスは、多才な者が多 一九七〇年四月(大学紛争故に に神学校を卒業 が、当然ながら波瀾万丈であり、出 するような神学校の卒業生はお断 りと、決定して 発から躓かされ 例えば、紛争時に機動隊を導入 いた任地を取り消 た者がほとんど。

会…

された者も複数いた。

協力牧師をしつつ、今も某短大学

他教団の神学校校長で

|名、教区の責任を持った二名。

現常議員が二名、神学教師が

会に赴任。実際の伝道・牧会をし 会議長は不可。 に伝道者」として教

富士登頂四八回という強者もい 生時代の山岳部の経験を生かし、 あった者もいる。かと思えば、学

順番に自らの三八年を語った

れた子どもの内、四人が牧師とな 歩みそのものが紛争がらみ…。 た。というより、伝道者としての を分かちあった。一方、ご夫人を お互い、自分のことのように喜び 仕えていることを聞いた時には、 り、二人が牧師夫人として教会に 大に送った者も二人。 個人的には、それぞれに与えら

主の憐れみの故に、ここまで来る

教師検定試験が実

施されず、「信徒 また当時は、

ていても、長老 このように、所謂教団紛争には、

健康が心配なのか、次はあまり間 ことができた伝道者の道。お互いの をおかずに集まろうと散会…。 、教団総会副議長 小林